

新税区分の登録方法について

* * Vicsell 支払管理・電債管理・手形管理・支払調書をご利用のお客様 * *

■新税区分の登録方法について

<概要>

新税区分の登録方法と、各マスター画面に設定されている旧税区分を新税区分に変換する方法について説明します。

<注意事項>

1. 「消費税区分の一括変更」はマスターに登録された税区分を一括で変更します。旧税区分での仕訳の登録が終わり、新税区分で仕訳の登録を始めるまでに行ってください。
一括変更するのはマスターのみで、仕訳に登録されている税区分は変更されません。
2. 事前に「データ領域のバックアップ」を実行してください。

<手順>

1. 新税区分を登録する

新税区分を登録します。新税区分の登録方法は以下の①②③の3種類があります。

①「消費税区分の登録」で新税区分を登録するには

- 1) メニュー画面：共通タブ「会計前準備」-「消費税区分の登録」をクリックします。
→消費税区分の登録画面が起動します。
- 2) 接続している会計ソフトの新税区分（区分コード・区分名・税率・摘要）を入力して、[登録] ボタンをクリックします。

②PCA 会計 DX・PCA 会計 X・PCA Dream21 接続オプションがインストールされている場合：接続する PCA 製品の税区分を受け入れるには

◇PCA 会計 DX 接続オプションがインストールされている場合

- 1) メニュー画面：PCA 会計 DX タブ「PCA 会計 DX」-「PCA 会計 DX マスタの受入」をクリックします。
→PCA 会計 DX マスタの受入画面が起動します。
- 2) 「受入マスタ」に「5：消費税区分」（Vicsell 支払調書では「5：税区分」）を選択し、「既存データの置き換え」は「置き換えない」を選択します。
- 3) [実行] ボタンをクリックすると、既存のデータは残しそれ以外のデータの受入が実行されます。

◇PCA 会計 X 接続オプションがインストールされている場合

- 1) メニュー画面：PCA 会計 X タブ「PCA 会計 X」-「PCA 会計 X マスタの受入」をクリックします。
→PCA 会計 X マスタの受入画面が起動します。
- 2) 「受入マスタ」に「5：消費税区分」（Vicsell 支払調書では「5：税区分」）を選択し、「既存データの置き換え」は「置き換えない」を選択します。
- 3) [実行] ボタンをクリックすると、既存のデータは残しそれ以外のデータの受入が実行されます。

◇Dream21 接続オプションがインストールされている場合

- 1) メニュー画面：Dream21 タブ「Dream21」-「Dream21 マスタの受入」をクリックします。
→Dream マスタの受入画面が起動します。
- 2) 受入マスタに「5：税区分」を選択し、既存データの置き換えは「置き換えない」を選択します。
- 3) 「実行」ボタンをクリックすると、既存のデータは残しそれ以外のデータの受入が実行されます。

③テキスト連動の場合（接続オプションがインストールされていない場合）：CSV ファイルで新税区分を受け入れるには

※Vicsell 支払管理・手形管理・電債管理の場合、バージョンが V2.0.0 以降で受入が可能です。

※Vicsell 支払調書にはありません。

※既存の税区分コードと同じ税区分コードの消費税情報を受け入れた場合、既存の消費税情報に上書きします。

- 1) メニュー画面：共通タブ「会計前準備」-「会計マスタの受入」をクリックします。
→会計マスタの受入画面が起動します。
- 2) 受入マスタに「5：消費税区分」を選択し、受入データに受け入れる CSV ファイルを指定します。
- 3) 「次へ」ボタンをクリックすると、受入項目の割り当て画面が表示されます。消費税区分の項目をマウスのドラッグ&ドロップで下のファイル内容に設定してください。
- 4) 受入を実行する場合は「次へ」ボタンをクリックします。受入件数の確認画面が表示されますので、受け入れる場合は「転送する」ボタンをクリックします。エラー件数がある場合は「ログ表示」ボタンをクリックすると、エラー内容が確認できます。

2.旧税区分を新税区分に変換してマスターに登録する

「消費税区分の一括変更」機能を使用し、各マスター画面の科目欄に設定されている旧税区分を、新税区分に一括変更します。

※変更されるのはマスターに登録された税区分で、仕訳に登録されている税区分は変更されません。

※「消費税区分の一括変更」は Vicsell 支払管理・手形管理・電債管理の場合、バージョンが V1.0.5.2 以降で使用できます。

V1.0.5.1 以前のバージョンをお使いのお客様は、以下に記述している変更されるマスターに設定されている旧税区分を新税区分に変更し、登録してください。

変更されるマスターは以下になります。

「基本情報の登録」「取引銀行の登録」「支払先の登録」「得意先の登録」「支店の登録」「勘定科目の登録」「補助科目の登録」「補助科目 2 の登録」「経費パターン登録」

①メニュー画面「ファイル」-「データの保守」をクリックします。

→データの保守画面が起動します。

※「データの保守」は、使用中のデータ領域の処理レベルが“0：責任者”のユーザーのみ設定できます。

②「データの保守」の「マスター」をクリックし、「消費税区分の一括変更」メニューを選択します。

③「消費税区分の登録」で登録されている税区分が旧区分に表示されますので、更新する旧区分に新区分を設定します。

(例) 旧税区分「B4」8%を、新税区分「B5」10%に更新する場合

旧区分	税率	新区分	税率
B1	0.03		0
B2	0.045		0
B3	0.05		0
B4	0.08	B5 ▼	0.1
B5	0.1		0

④消費税区分の一括変更を実行する場合は「実行」ボタンをクリックします。

確認画面が表示されますので、処理を実行する場合は「はい」ボタンをクリックします。

処理を中止する場合は「いいえ」ボタンをクリックします。

以上